

取締役候補者の個別の選任理由

1. 取締役の選任に関する考え方

三菱商事では、取締役の役割・責務／選任方針／選任手続等を添付③のとおり定めております。また、個別の人事案については、社外役員が過半数を占めるコーポレートガバナンス・指名委員会で審議の上、取締役会で決定することとしています。

2. 取締役の個別の選任理由(1) 取締役（監査等委員である取締役を除く）候補者

	氏名	選任理由
社内	垣内 威彦	農水産事業等の生活産業関連事業に従事し、生活産業グループ CEO 等の要職を経て、2016 年 4 月から 6 年間、社長として、事業経営モデルによる「経済価値」「社会価値」「環境価値」の三価値同時実現による成長を目指し、循環型成長モデルによる資産の入替等を推進することで、当社の企業価値向上に貢献してきました。2022 年 4 月から取締役会長として、非業務執行の立場から経営の監督機能を担うとともに、当社の持続的な成長の基盤となるガバナンスの強化に取り組んでおり、当社における豊富な業務経験と、当社の経営全般、グローバルな事業経営及び管理・運營業務に関する知見を有していることから、引き続き取締役候補者となりました。
	中西 勝也	電力・エネルギー関連事業に従事し、中東・中央アジア統括等の要職を経て、2019 年 4 月から電力ソリューショングループ CEO を務め、当社のエネルギー・トランスフォーメーション (EX) 及びデジタル・トランスフォーメーション (DX) を推進し、当社の企業価値向上に貢献してきました。2022 年 4 月から業務執行の最高責任者である社長を務め、『中期経営戦略 2024』に続き 2025 年度からは、「総合力」の発揮による新たな価値創出に向けて『経営戦略 2027』を推進しており、当社における豊富な業務経験と、当社の経営全般、グローバルな事業経営及び管理・運營業務に関する知見を有していることから、引き続き取締役候補者となりました。
	野島 嘉之	総務・法務関連業務に従事し、環境・CSR 推進部長、法務部長、総務部長等の要職に就き、主にガバナンス、法務、サステナビリティの側面から、当社の企業価値向上に貢献してきました。2024 年 4 月からコーポレート担当役員（総務、法務）として、ガバナンスの実効性向上、法務機能の強化を推進するとともに、緊急危機対策本部長として、重大な有事発生時の対応責任者を務め、連結ベースでの事業継続マネジメントに取り組んでおり、当社における豊富な業務経験と、当社の経営全般及び管理・運營業務に関する知見を有していることから、引き続き取締役候補者となりました。

	氏名	選任理由
社内	小林 健司	企業投資、アセットマネジメント分野等を中心に国内外の金融関連事業に従事し、アセットファイナンス本部長やコーポレート担当役員(CSEO)等の要職に就き、当社の企業価値向上に貢献してきました。2025年4月からコーポレート担当役員(CSEO)兼金融アライアンス担当として、ステークホルダーエンゲージメントの推進に加え、金融投資家との建設的な対話・連携や、コーポレートベンチャーキャピタル事業に取り組んでおり、当社における豊富な業務経験と、当社の経営全般及び管理・運營業務に関する知見を有していることから、取締役候補者となりました。
	馬場 重郎	エネルギー及び素材関連事業に従事し、機能材本部長やグループ会社経営ポスト等の要職を経て、2025年4月からグローバル総括部長として拠点戦略や地域インテリジェンス等の取組を通じ、当社の企業価値向上に貢献してきました。現在はコーポレート担当役員(人事、地域)兼グローバル総括部長として、人的資本の価値最大化及びグローバル経営体制の更なる強化に取り組んでおり、当社における豊富な業務経験と、当社の経営全般及び管理・運營業務に関する知見を有していることから、取締役候補者となりました。
	嶋津 吉裕	財務・会計関連業務に従事し、営業グループ管理部長、主計部長等の要職に就き、主に財務・会計の側面から、当社の企業価値向上に貢献してきました。2026年4月から最高財務責任者であるコーポレート担当役員(CFO)として、成長投資の足場となる盤石な財務体質の構築、投融資案件の審査・事業投資全体状況のモニタリング、市場リスク・信用リスク等の財務関連リスクマネジメント、より安定した株価形成と中長期的な株価上昇を促す取組を推進しており、当社における豊富な業務経験と、当社の経営全般及び管理・運營業務に関する知見を有していることから、取締役候補者となりました。
社外	立岡 恒良	経済産業省において要職を歴任し、経済・産業政策に長年携わることで培われた産業界全体への深い造詣、及び環境・エネルギー政策を含むサステナビリティに関する高い見識を有しており、実践的な視点から、当社の経営への助言や業務執行に対する適切な監督を行っていただけると判断し、社外取締役候補者となりました。
	宮永 俊一	世界各地で事業を展開するコングロマリット型製造会社(上場)の取締役社長・取締役会長を長年務め、グローバルな事業経営の経験、及びエネルギー関連を含むテクノロジー全般に関する高い見識を有しており、実践的な視点から、当社の経営への助言や業務執行に対する適切な監督を行っていただけると判断し、引き続き社外取締役候補者となりました。

	氏名	選任理由
社外	鷺谷 万里	グローバルに事業展開する複数の IT 関連企業で経営幹部を歴任し、企業の変革を導いた豊富な経営経験と、IT・デジタル技術分野、及びダイバーシティ推進を含む人材戦略に関する高い見識を有しており、実践的な視点から、当社の経営への助言や業務執行に対する適切な監督を行っていただけるものと判断し、引き続き社外取締役候補者となりました。
	中空 麻奈	グローバルな金融業界におけるクレジットアナリストとしての長年の実務経験や、ESGストラテジストとして各種企業のサステナビリティ方針の策定や分析を主導した経験を通じて、金融・資本市場及び ESG・サステナビリティ分野への深い造詣を有しており、実践的な視点から、当社の経営への助言や業務執行に対する適切な監督を行っていただけるものと判断し、社外取締役候補者となりました。

(2) 監査等委員である取締役候補者

	氏名	選任理由
社内	鴨脚 光眞	財務・会計関連業務に従事し、事業投資総括部長、コーポレート担当役員(国内)等の要職を経て、2019年4月から複合都市開発グループ CEOとして、当社の企業価値向上に貢献してきました。2022年6月から常勤監査役として、監査業務を通じ、当社の健全な経営発展と社会的信頼の向上に努めており、当社における豊富な業務経験と、当社の経営全般及び財務・会計等に関する知見を有していることから、引き続き監査等委員である取締役候補者としました。
	野内 雄三	財務・会計関連業務に従事し、営業グループ管理部長、主計部長等の要職を経て、2022年4月から2026年3月まで最高財務責任者であるコーポレート担当役員(CFO)として、財務戦略の推進、財務関連リスクマネジメント、事業投資審査・モニタリングを通じて、当社の企業価値向上に貢献してきました。当社における豊富な業務経験と、当社の経営全般及び財務・会計等に関する知見を有していることから、監査等委員である取締役候補者としました。
社外	秋山 咲恵	国際的な経営コンサルタントを経て、産業用検査ロボット企業を創業し、グローバル企業に成長させた経験を通じて培われた、IT・デジタル技術分野への深い造詣、及びイノベーションに関する高い見識を有しており、実践的な視点から、当社の経営への助言や業務執行に対する適切な監督、及び中立的な立場からの監査を行っていただけるものと判断し、監査等委員である社外取締役候補者としました。
	茂木 哲也	公認会計士としての長年にわたる大手監査法人での実務経験や、日本公認会計士協会での要職の歴任を経て培われた、財務・会計・監査に関する深い造詣と高い見識をもとに、専門的な視点から、当社の経営への助言、業務執行に対する適切な監督、及び中立的な立場からの監査を行っていただけるものと判断し、監査等委員である社外取締役候補者としました。
	金子 圭子	弁護士としての長年の経験を通じて培われた企業法務(会社法、M&A等)に関する高い見識、及び豊富な社外役員経験を通じて培われた経営視点をもとに、専門的な視点から、当社の経営への助言、業務執行に対する適切な監督、及び中立的な立場からの監査を行っていただけるものと判断し、監査等委員である社外取締役候補者としました。

(3) 補欠の監査等委員である取締役候補者

	氏名	選任理由
社外	鷺谷 万里	グローバルに事業展開する複数の IT 関連企業で経営幹部を歴任し、企業の変革を導いた豊富な経営経験と、IT・デジタル技術分野、及びダイバーシティ推進を含む人材戦略に関する高い見識を有しており、実践的な視点から、当社の経営への助言や業務執行に対する適切な監督、及び中立的な立場からの監査を行っていただけるものと判断し、補欠の監査等委員である社外取締役候補者となりました。

以 上